

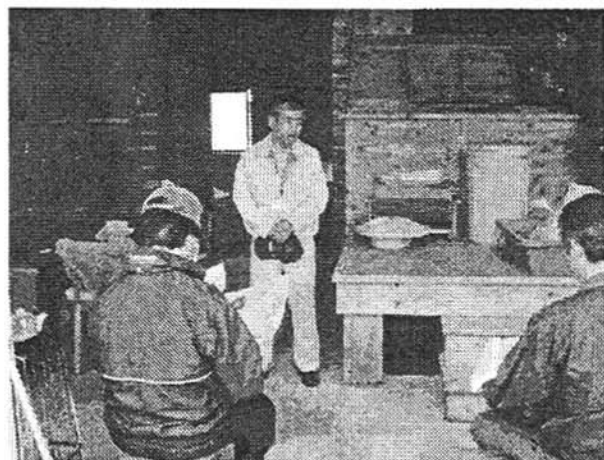
生ごみリサイクル通信 e^イc^コo しもすわ

～第2号～

生ごみリサイクルセンターが開所して早2年近くになります。この間、推進委員会では、多くの市民の皆様が利用しやすく、長く利用していただける生ごみリサイクルのシステム作りを目指してまいりました。そして今、事業参加者の皆様とこの事業を作り上げてきた諸団体の皆様の善意により参加世帯数もあと少しで1000世帯にとどるところまで育ちました。ソウは小さな苗木が大地にしっかりと根をはり若木に成長する姿に似ています。そしてこの事業は「下諏訪町は、自分たちの力で自分たちの身の丈にあった形で自分たちの環境を守ろう」とそんな活動を体現するものになりつつあります。参加者の多くの皆さんから『生ごみの分別は思ったほど面倒じゃないね』また『ほんとに環境に優しいね』そんな声もいただいております。このような生ごみ事業の近況を今回はお知らせし、本紙が皆様の生ごみ事業へのソウさうの理解の手助けになればと、推進委員会では願ってやみません。

◎私たち推進委員会では、こんな活動をしています！

☆月1回「見て、知って、納得する」生ごみリサイクルセンター見学会



☆たい肥を活用した実験農園



☆事業参加者への「たい肥」還元
*毎回大好評です！

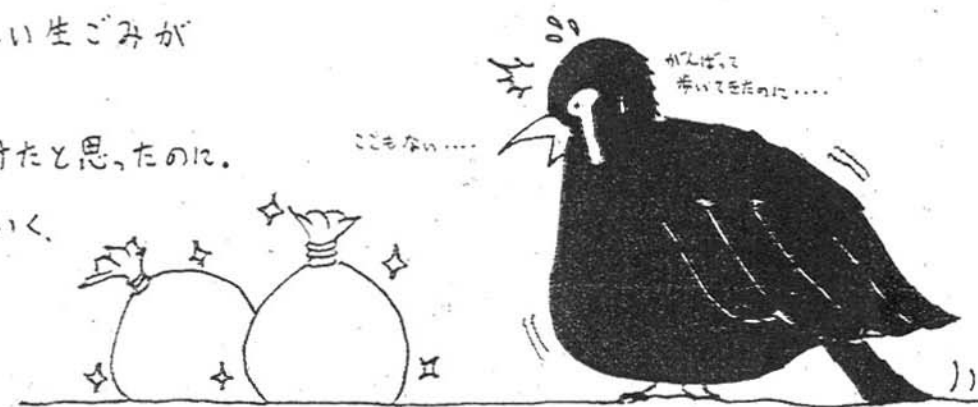
最近、下諏訪町内で、おいしい生ごみが
見つかりにくくなりました。

せつ、ボクの楽園を見つけたと思ったのに、

かおりに、日増しに増えていく、
青くて大きいポリバケツ。

ニオイはするけど開けられない。

近頃、ちょっとやせました……。



編集後記

皆で楽しみながらエコしもすわ 第2号が発行出来ました。
生ごみ事業の現状をよく理解していただくために写真多く取り入れ
ました。あと少しで1000世帯達成です。
あなたの御参加をお待ちしています。

家庭生ごみ減容リサイクル事業参加申込書（個人・グループ）

☐ どちらかに○印を付けてください。

	住 所	氏 名	電話番号
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☐ ※グループの代表者の方は、必ず番号欄に○印を付けてください。

【お問い合わせ先】

下諏訪町役場住民環境課 生活環境係 Tel: 27-1111 内線141

生ごみリサイクル通信 ecoしもすわ 第2号 平成20年5月
編集・発行：生ごみリサイクル事業推進委員会

◎事業参加者の皆さんから一言

- ☆ 生ごみの分別、エコにいいね!!
- ☆ 可燃ごみのごみ出しがほんとに軽くなった、楽しい。
- ☆ 可燃ごみがとても清潔。
- ☆ 「生ごみの分別」慣れちゃった、楽ね。
- ☆ わたしね、最初生ごみの分別って面倒じゃないかって思っていたの
- ☆ この生ごみ事業ってまだ知らない人多いね。わたし説明しちゃった
- ☆ 生ごみリサイクルって台所のことだから私たち主婦ががんばらなく
- ☆ 生ごみの分別は女房がやっている。せめて男は運ぶくらいはするよ
- ☆ 堆肥もらうの楽しみ。
- ☆ 私、今回堆肥もらうの志めちゃった。
- ☆ 去年の夏は水が溜まったわ、何かいい方法ない?
- ☆ 三人家族だが、生ごみリサイクルに参加して一週間の生ごみの量がこんなにあるなんてはじめて知った。
- ☆ 食べ残し、少なくなった。
- ☆ 食べ物を大切にできるようになった。
- ☆ ごみの事、あまり考えなかったけど、勧められて生ごみの分別始めたら、少し考え方が変わったみたい。

◎推進委員会から

この数ヶ月の間、参加者の皆さんから生ごみリサイクル事業に対する声、たくさんいただくことが出来ました。これから推進委員会まで、皆さんのごまごまな声をお寄せ下さい。

「にせり上手」原則

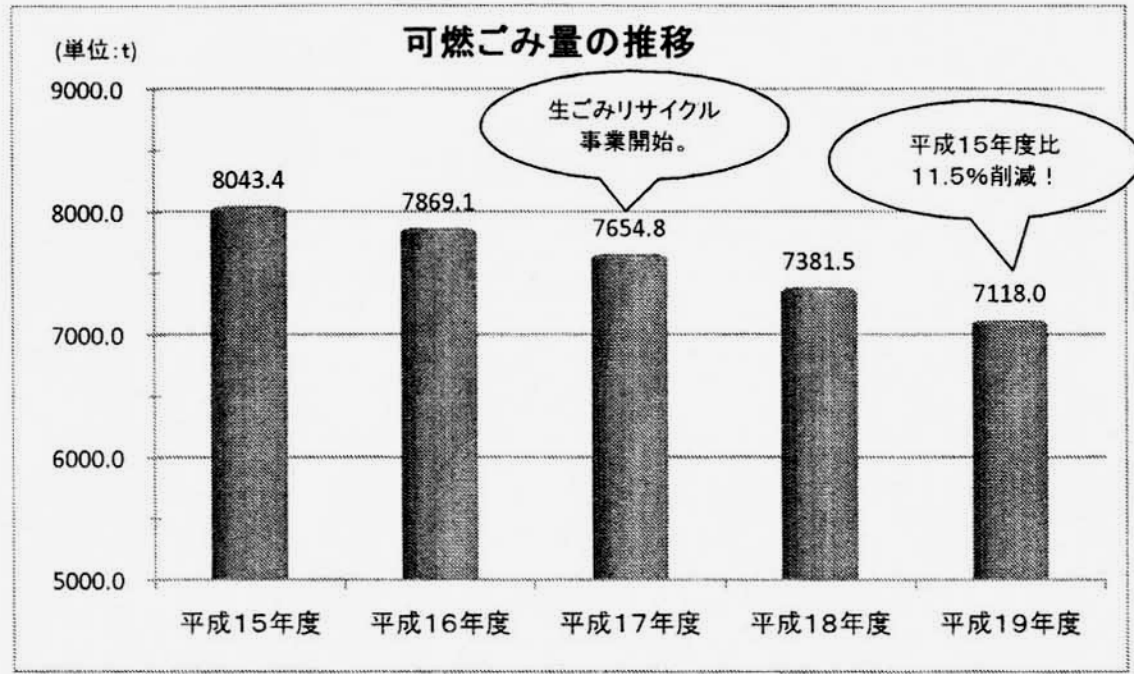
1. 不用意に生ごみを必要としない。
調理くずは三角コーナーに入れず、
くぐりかからない所でザル等にストックする。
2. かるくしぼる。
三角コーナーの生ごみは、上からかるく
手で押さへ、くぐり分をしぼる。
3. 暖かい所に置かない、また1週間以上
溜めない。
生ごみは分解時に水分を多く出します。
特に夏は分解が早い。

◎ 究極の方法ですが、水気の多い果物の皮など、日の当たる場所に干し、乾燥させてお家にもあるんですよ。

※ 真夏のごみ出し時、袋に水分がたまり溜まっているなと思ったら、袋の下の隅をハサミで小さく切り、水を出したらそこを3センチぐらいつまみよくまじったら、車輪ゴムをしっかりと掛ける。
そんなやり方もあります。

皆さんのおやりになっている水切りのよい方法を募集します
推進委員会までご一報ください

推進委員を募集しています!
私たち推進委員会は、身近な環境を「考えたい」として「行動したい」、
どんな仲間の気軽な集まりです。
あなたも推進委員になりませんか。



皆さん、可燃ごみがこんなに減ってきました。
なぜなら平成17年12月から赤石少崎で生ごみリサイクル事業を始めたからです。

生ごみは微生物の力で分解し、二酸化炭素と水蒸気として大気に戻りリサイクル事業です。地球環境にも優しく可燃ごみを減します。あなたも生ごみリサイクル事業に参加してみませんか!!

